

令和元年 10 月 4 日

愛知県知事 大村 秀章 殿

自由民主党愛知県議員団

団 長 杉 浦 孝 成

「表現の不自由展・その後」の再開について（申し入れ）

トリエンナーレ 2019 の開幕後 3 日で中止となった「表現の不自由展・その後」に関しては、8 月 13 日付けで 4 項目にわたる申し入れを行ったが、その後、県当局においては、検証委員会を設置・開催し、我が党県議団が指摘した事項についても、情報公開や議論が進みつつある。

こうした中、トリエンナーレ実行委員会は先日、「表現の不自由展・その後」について、企画展の実行委員会メンバーと、今月 6～8 日の再開に向けて協議することで和解した、との報道があった。

企画展を再開する場合の大前提は、安全安心の確保であることは言うまでもないが、安全安心は、トリエンナーレの会場だけでなく、学校や幼稚園等においても確保されるべきであり、発信元が特定できない海外のメールサーバ経由の脅迫メールや、予告なく安全安心を脅かす行為も想定される。

したがって、我が党県議団としては、県民の安全安心に対する懸念が十分に払拭されたと言い難い現時点では、企画展の再開に賛同することは困難である旨を申し伝えざるを得ない。

もとより、トリエンナーレの最高責任者は実行委員会の会長を務める知事であるが、以上のような状況を十分にご賢察の上、企画展の取扱いに当たっては慎重を期し、十分な説明責任を果たされるよう強く要望する。